

海外安全対策情報（２０２３年７月～９月）

在ベネズエラ日本国大使館

１ 社会・治安情勢

当地ＮＧＯによれば、２０２３年７月～９月に発生した抗議デモの件数は１，３３８件で、前年（１，７１７件）比で約２２％減少した由です。同期間中、労働条件の改善を求める労働者による抗議活動や、適切な社会保障・年金受給を求めるハンガーストライキが行われ、抗議行動に参加した労働者が現場で逮捕される事案も報告されています。また、ガイアナ・エセキボ領土問題を巡り、国内各地で集会が実施されました。同ＮＧＯによれば、この期間中、国内で少なくとも１３件のデモ活動が治安当局による介入を受けた由ですが、抗議デモに関連する死者数は０人でした。人の集まるデモ活動、集会、行進等には近づかないよう注意してください。

２ 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（１）全般

治安当局によれば、２０２３年７月～９月の全国の犯罪発生認知総件数は、前年同期比で約１１％減少しました。一方、カラカス首都区では微増しました。

（２）各論

治安当局によれば、殺人事件や強盗事件など凶悪事件の認知件数は、前年同期比で減少しましたが、誘拐事件の発生率が約３０％増加しました。カラカス首都区では、主な罪種の発生件数が減少傾向にありますが、カラカス首都区におけるけん銃等発砲事件が増加しています。

（３）邦人等の被害事案

なし。

３ テロ・爆弾事件発生状況

国境沿いの地域において、みかじめ料を払わない商店等に爆発物が投げ込まれる事案が散発的に報道されています。引き続き、これらの地域へは近づかないようにしてください。また、外出の際は、事前に外出先の治安情報を収集し、目的地までの経路や交通手段を十分に検討してください。

４ 誘拐・脅迫事件発生状況

治安当局は、２０２３年７月～９月に、地方都市において身代金目的誘拐事件が発生している旨報告しています。報道やＳＮＳの情報によると、治安当局が把握していない事件も散発的に発生している模様です。強盗事件や窃盗事件が、誘拐事件に発展することもあります。また、爆弾事件が発生する背景には、商店等に対するみかじめ料目的の脅迫事件が関わっていると報告されています。外出の際は、事前に外出先の治安情報を収集し、目的地までの経路や交通手段、時間帯を十分に検討してください。また、移動中は周囲に対する警戒を怠らないようにしてください。